



◆実践コラム◆

『リスクの決断は先送りせず迅速に行いましょう。』

尾川 充広 (銀行融資プランナー協会 財務アドバイザー)

◆お役立ち情報◆

『「ひとつづくり支援の補助金」について』

今西 章 (社労士 銀行融資プランナー協会 財務アドバイザー)

◆実践コラム◆  
リスクの決断は先送りせず迅速に行いましょう。

尾川 充広

資金繰りが厳しいと感じた時、第一に取る行動は新たな資金調達でしょう。そして、新たな資金調達ができなかった場合、リスクを検討することになります。  
「借入の返済さえなければ資金は回る」という状況であれば、営業収支が黒字である可能性が高いためリスクによる効果も得られやすくなります。「返済を止めても資金が回らない」という状況であれば、営業収支段階で赤字ですので、金融収支を調整しても資金は回りません。ただ、一定の時間稼ぎにはなりませんので、いずれの場合も迅速にリスクを申し込んだ方が良いでしょう。  
リスクを申し込む場合、事前に自社の返済能力を把握しておく必要があります。

これから返済額の軽減を交渉するとき、返済可能な額が分からないのでは、話し合いになりません。結局、「じゃあこれまでの半分で」といった何の根拠もない落としどころに収まってしまいます。実際に良く見られるケースです。この時、実は半分の返済も出来ない状態だったとしたら、いずれその半分の返済も出来なくなり、「約束を2度も反故にした」という致命的な信用失墜を招くでしょう。  
出来ない約束をしなくても済むよう、自社がいくら返済できるかを事前に把握しましょう。返済能力は、減価償却と純利益の和で導き出せます。

自社の返済能力が分かったら、次、どの金融機関にどれだけ返済するかを決めます。ただし、リスクを受ける場合のルールがあり、例えばA行、B行、C行の3行から融資を受けていた場合、「A行とB行には返済せず、C行にだけ返済する」といった行為は認められません。原則、全ての金融機関を公平に扱う必要があります。また、リスク後の返済額についても、多く借りているところには、返済も多くなければ不公平になります。

具体的には、リスクを申し出た時点の各金融機関の借入残高が、A行500万円、B行300万円、C行200万円であった場合、毎月10万円の返済しか出来ないとするれば、各金融機関の返済額は、A行5万円、B行3万円、C行2万円となります。

無理して返済を続けることが企業の弱体化につながり、結果として返済が出来なくなってしまうと、金融機関に大変な迷惑をかけることとなります。事業が予定通りにいかないことは、ある意味当たり前のことですので、大きな迷惑をかける前に、リスクを申し込む切り切りが必要かもしれません。

リスクの申し込みは口頭では無く、経営改善計画書を作成して行うと良い結果が得られます。経営改善計画書の作成方法が知りた方は、是非ご相談下さい。

◆お役立ち情報◆  
「ひとつづくり支援の補助金」について

今西 章

平成25年度補正予算事業の中に、中小企業・小規模事業者人材対策事業(ひとつづくり支援)という事業があります。

これは、新卒者や再就職を希望する主婦等向けの職場実習を支援して、実習生に日額最大7,000円の補助金を支給する他、新卒者やシニア人材の確保を支援する事業です。

【支援の内容】  
■中小企業新戦力発掘プロジェクト  
育児等で一度退職し、その後再就職を希望する女性を対象に、プランクを埋めるための職場実習の受け入れ、または実習参加を支援するものです。

◇対象 .. 育児のために退職し、再就職を希望する主婦等

◇助成 .. 実習生に日額最大7,000円

◇実習期間 .. 2週間から3カ月程度の期間

■新卒者就職応援プロジェクト  
新卒者や未就職者の採用に向け、現場で求められる技能や技術を習得するための職場実習の受け入れ、または実習参加を支援するものです。

◇対象 .. 新卒者、既卒者  
◇助成 .. 実習生に日額最大7,000円

◇実習期間 .. 週5日、数カ月から6カ月程度の期間

■人材確保・定着支援事業  
中小企業・小規模事業者と学生等との顔が見える関係づくり、マッチングの機会の実施、人材育成・定着までの支援や、実務経験豊富なシニア人材の確保を支援するものです。

◇合同説明会や研修等の実施  
(自社PR、マッチング機会)

◇地域全体での交流会等の実施  
(新入社員等の定着化)

「女性や若者等の優秀な人材を確保したい」「自社の若手人材を育成したい」「実務経験豊富なシニア人材を確保したい」とお考えの方は、一度ご検討されてはいかがでしょうか。

※この事業は「全国中小企業団体中央会」(03-3523-4901)が相談窓口になっています。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

銀行融資プランナー協会マガジン

- 本情報の信頼性の向上には最善を尽くしていますが、その正確性を保証するものではありません。
- 銀行対応に関するご相談、税制・補助金・助成金に関するご相談は、銀行融資プランナー協会正会員事務所にて承っております。お気軽にご相談ください。
- コラムに関するご意見、ご感想、経営に関するご相談などございましたら、下記までお問合せください。

一般社団法人銀行融資プランナー協会事務局

大阪市中央区船場中央1-4-3-221・222号 (GPC-Tax本部内)

TEL : 06-6260-0022

MAIL : info@good-tax.jp

URL : http://www.bankfinancial-planner.com/